

2008年6月25日
第81回日本産業衛生学会
職業性ストレス調査票ユーザーズクラブ

ワーク・エンゲイジメント尺度の紹介

島津明人
東京大学大学院医学系研究科
精神保健学

ワーク・エンゲイジメントとは？

1. 仕事に誇り(やりがい)を感じ
2. 熱心に取り組む
3. 仕事から活力を得て生き生きしている状態

燃え尽き症候群の対概念として考えられている

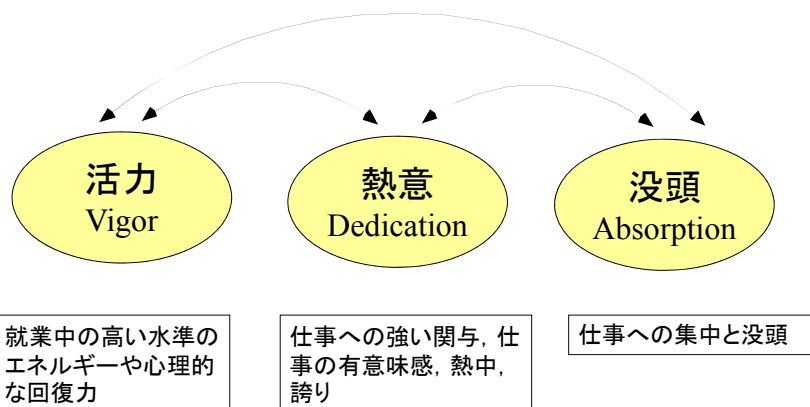
Schaufeli et al. (2001). *Journal of Happiness Studies*, 3, 71-92
Schaufeli & Bakker (2004) *J. Organiz. Behav.*, 25, 293-315

ワーク・エンゲイジメント提唱の背景

ーネガティブからポジティブへー

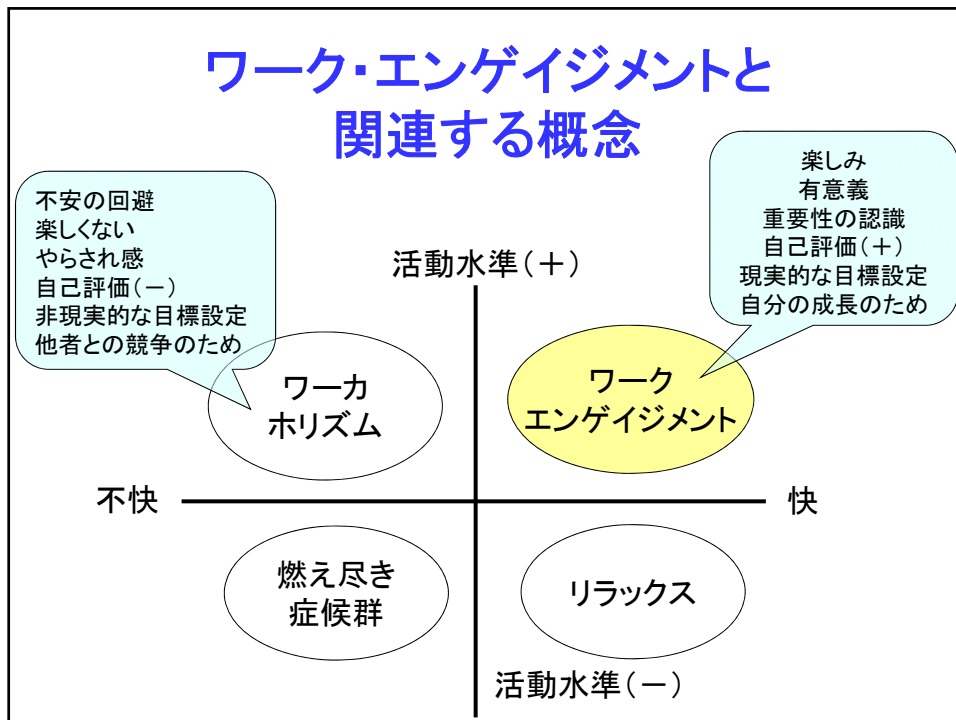
1. *American Psychologist* (2000) Vol.55: ポジティブ心理学の特集号, (Guest Editor) Seligman, M. E. P., 16 論文.
2. 心理学系の雑誌では17 (Negative) vs 1 (Positive) : Diener et al. (1999). *Psychological Bulletin*, 125, 267-302.
3. *Journal of Occupational Health Psychology*では95% vs 5% : Schaufeli & Bakker, (2005), UWES manual
4. Positive Organizational Behavior: Luthans, F. (2002). *Journal of Organizational Behavior*, 23, 695-706.

ワーク・エンゲイジメントの3要因

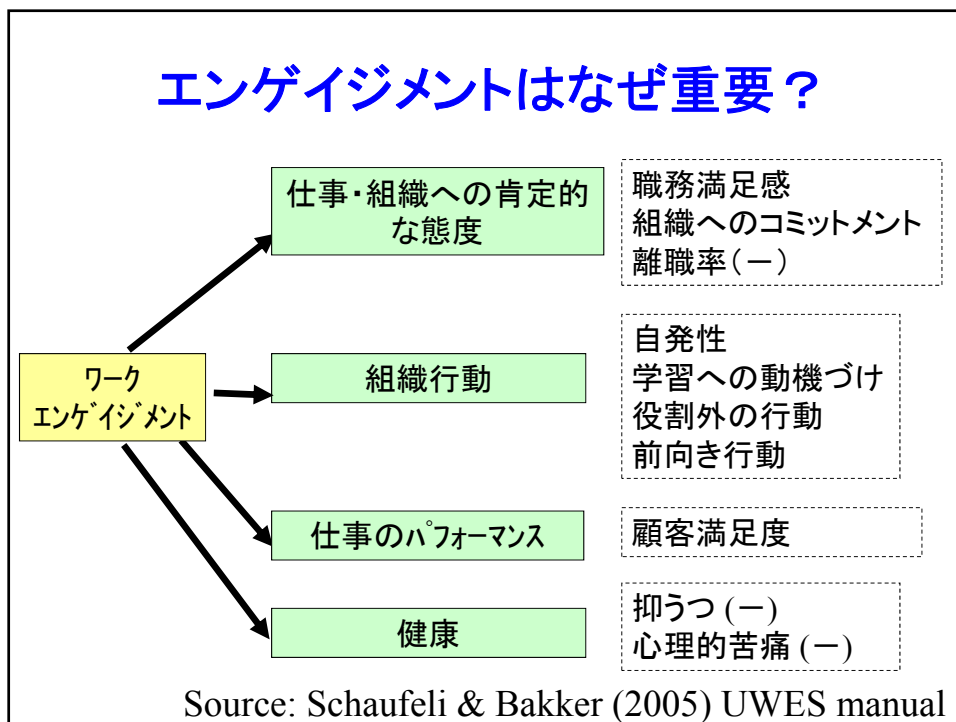


特定の対象, 出来事, 個人, 行動などに向けられた一時的な状態ではなく, 仕事に向けられた持続的かつ全般的な感情と認知。

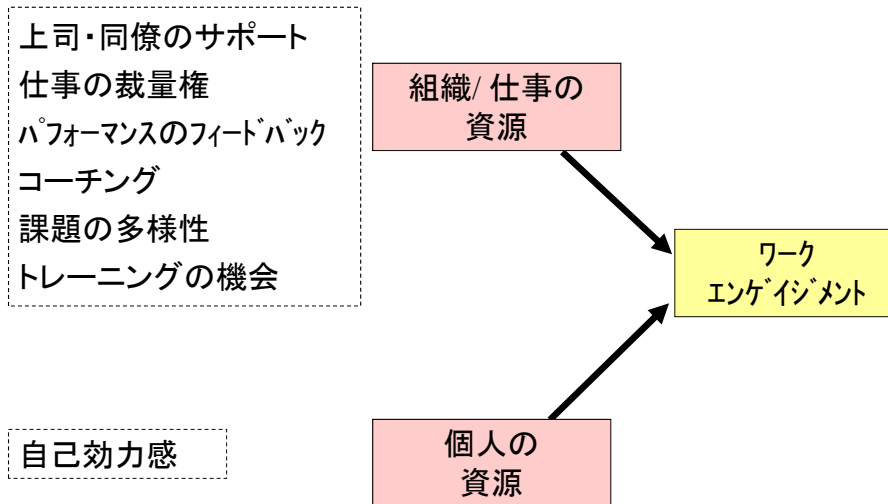
ワーク・エンゲイジメントと 関連する概念



エンゲイジメントはなぜ重要？



エンゲイジメントを決めるのは？



Source: Schaufeli & Bakker (2005) UWES manual

日本語版UWES

(活力) $\alpha = .83/.83$ (17項目/9項目)

1. 仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる *
4. 職場では、元気が出て精力的になるように感じる *
8. 朝に目がさめると、さあ仕事へ行こう、という気持ちになる *
12. 長時間休まずに、働き続けることができる
15. 職場では、気持ちがはつらつとしている

(熱意) $\alpha = .88/.77$ (17項目/9項目)

2. 自分の仕事に、意義や価値を大いに感じる
5. 仕事に熱心である *
7. 仕事は、私に活力を与えてくれる *
10. 自分の仕事に誇りを感じる *
13. 私にとって仕事は、意欲をかきたてるものである

(没頭) $\alpha = .77/.77$ (17項目/9項目)

3. 仕事をしていると、時間がたつのが速い
6. 仕事をしていると、他のことはすべて忘れてしまう
9. 仕事に没頭しているとき、幸せだと感じる *
11. 私は仕事にのめり込んでいる *
14. 仕事をしていると、つい夢中になってしまう *
16. 仕事から頭を切り離すのが難しい

7 件法 (0. まったくない ~ 6. いつも感じる (毎日))

* 短縮版 (9項目)

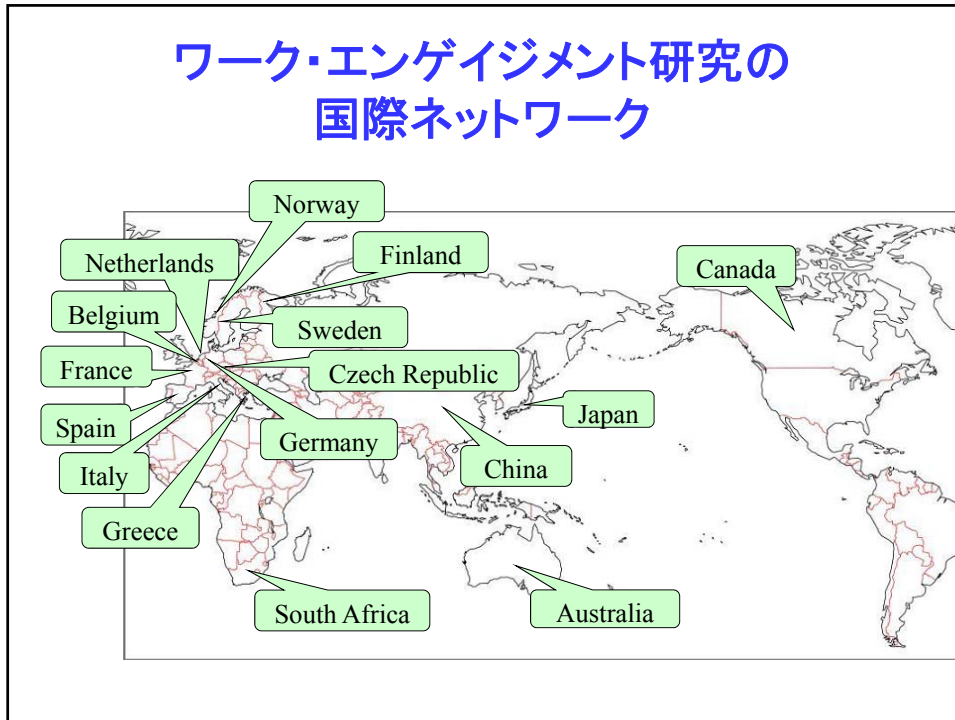
尺度全体の α 信頼性係数

(17項目) $\alpha = .93$ (9項目) $\alpha = .92$

<http://www.schaufeli.com/>

Shimazu et al. (2008). *Applied Psychology: An International Review*, 57, 510-523

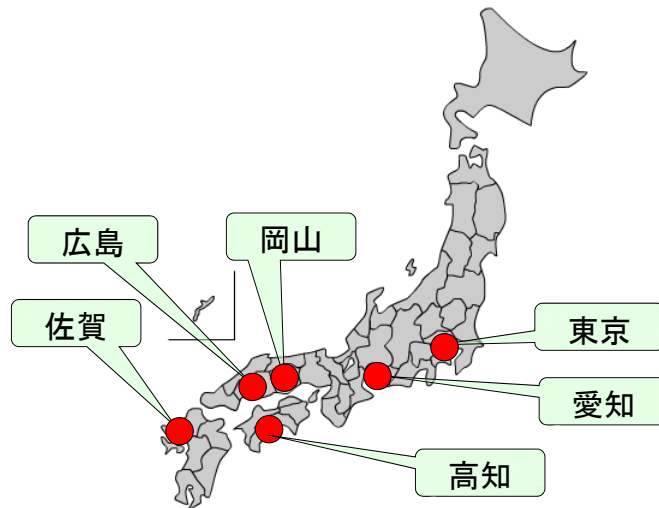
ワーク・エンゲイジメント研究の 国際ネットワーク



UWESの国際データベース (N = 37,981)

Country	N	Men	(%)	Women	(%)	Mean age	(SD)
Australia	643	391	(60.8)	251	(39.0)	48.3	(10.1)
Belgium	1,680	681	(40.5)	934	(55.6)	35.0	(9.8)
Canada	1,280	932	(72.8)	302	(23.6)	40.0	(11.9)
China	272	168	(61.8)	104	(38.2)	-	-
Czech Republic	92	73	(79.3)	19	(20.7)	41.7	(9.4)
Finland	6,131	4,497	(73.3)	1,497	(24.4)	45.3	(9.5)
France	221	46	(20.8)	169	(76.5)	42.8	(9.1)
Germany	434	299	(68.9)	131	(30.2)	39.4	(10.1)
Greece	469	216	(46.1)	253	(53.9)	-	-
Italy	212	166	(43.9)	212	(56.1)	32.4	(5.2)
Japan	6,377	4,201	(65.0)	1,915	(29.6)	37.7	(10.5)
Netherlands	13,236	7,200	(54.4)	5,988	(45.2)	38.3	(10.1)
Norway	2,250	1,227	(54.5)	788	(35.0)	39.8	(10.0)
South Africa	2,547	568	(22.3)	1,979	(77.7)	34.5	(6.3)
Spain	1,759	864	(49.1)	875	(49.7)	50.4	(18.1)
Sweden	378	166	(43.9)	212	(56.1)	39.7	(8.9)

ワーク・エンゲイジメント研究の 国内ネットワーク



国内データベースの内訳

年代	男性		女性		全体	
	n	(%)	n	(%)	n	(%)
-29	764	(18.3)	887	(47.5)	1651	(27.3)
30-39	1313	(31.4)	542	(29.0)	1855	(30.7)
40-49	1316	(31.5)	309	(16.5)	1625	(26.9)
50-	782	(18.7)	130	(7.0)	912	(15.1)
合計	4175	(100.0)	1868	(100.0)	6043	(100.0)

男性では30-40歳代, 女性では20歳代が中心

α信頼性係数と再検査信頼性

- 9項目版のα信頼性係数

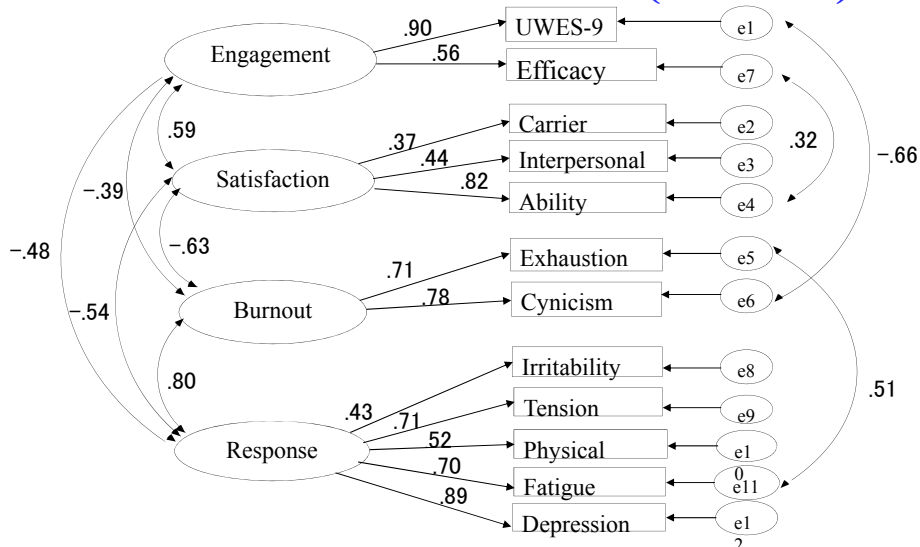
- Engineer 1 (N=286) .91
- Engineer 2 (N=498) .92
- Nurse (N=1540) .92
- Total (N=2324) .92

- 再検査信頼性(2ヶ月間隔)

$r = .66$ (for Engineer 1, N=133)

Shimazu et al. (2008). *Applied Psychology: An International Review*, 57, 510-523

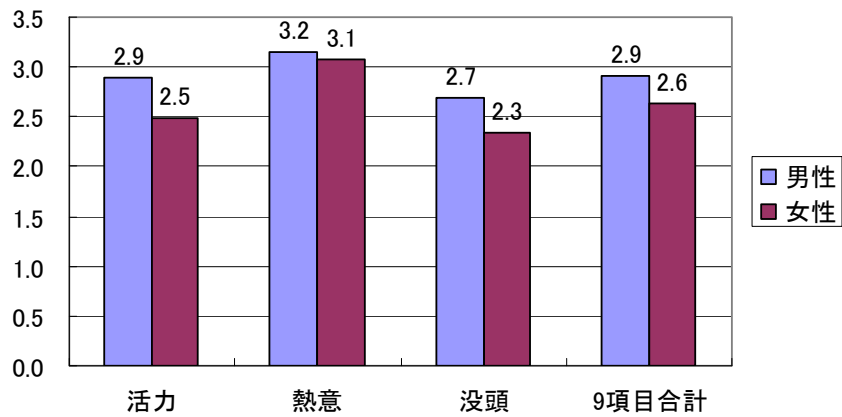
修正版4因子モデルの結果(N=1392)



エンゲイジメントは他の3概念とは異なる概念

Shimazu et al. (2008). *Applied Psychology: An International Review*, 57, 510-523

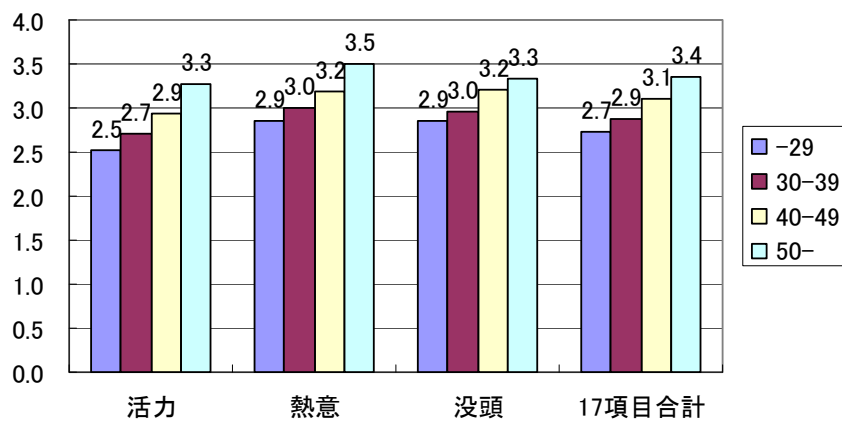
男女間の比較(9項目版)



すべての下位尺度で 男性 > 女性 ($p < .001$)

(熱意のみ: 性差なし, $p > .10$)

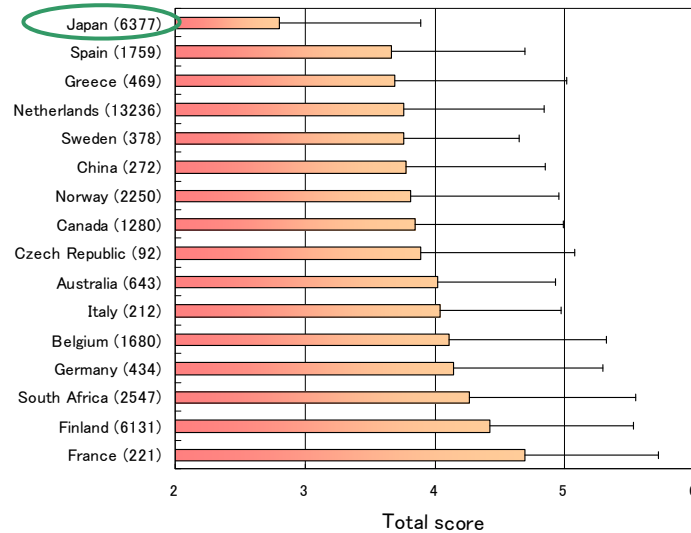
年代間の比較(9項目版)



20歳代 < 30歳代 < 40歳代 < 50歳以上 (すべて $p < .001$)

(熱意のみ: 30歳代 < 40歳代, $p < .05$)

尺度得点の国際比較(短縮版)



All comparisons were significant at 0.1% level (Bonferroni correction for multiple comparison was applied).

主要論文

- Schaufeli, W. B., Salanova, M., Gonzalez-Rom V. & Bakker, A. B. (2002). The measurement of engagement and burnout: A two sample confirmatory factor analytic approach. *Journal of Happiness Studies*, 3, 71-92.
- Schaufeli, W. B. & Bakker, A. B. (2004) Job demands, job resources and their relationship with burnout and engagement: A multi-sample study. *Journal of Organizational Behavior*, 25, 293-315.
- Schaufeli, W. B., Bakker, A. B. & Salanova, M. (2006). The measurement of work engagement with a short questionnaire: A cross-national study. *Educational and Psychological Measurement*, 66, 701-716.

2001年以降, 英語76編, その他の言語23編(オランダ語, スペイン語, フィンランド語)

国内の研究動向

<論文>

Shimazu, A., Schaufeli, W. B., Kosugi, S., Suzuki, A., Nashiwa, H., Kato, A., Sakamoto, M., Irimajiri, H., Amano, S., Hirohata, K., Goto, R., & Kitaoka-Higashiguchi, K. (2008). *Applied Psychology: An International Review*, 57, 510-523

<学会発表>

•6/26(木)P2004

彌富美奈子: 職場ストレス、職場内外支援、職階級が企業従業員の心理学的ストレス反応及びWork Engagementに及ぼす影響

•6/26(木)P2014

島津明人ほか: ユトレヒト・ワーク・エンゲイジメント尺度日本語版(UWES-J)の信頼性・妥当性の検討: (2)性別・年代別の検討

研究にご協力いただける 事業所を募集しています

1. データ提供のお願い

個人情報除去後のデータをご提供下さい。国際データベースに登録させていただきます。

2. 「こころと組織の活性化」プロジェクトへの参加

WEBによる組織診断、セルフケアコンテンツの効果評価(東京大学精神保健学分野、富士通FST社と共同研究)

研究にご協力いただける方、ご関心のある方は、ashimazu@m.u-tokyo.ac.jp までご連絡下さい。